

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2024 年 2 月 15 日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」桃花台校第一単位

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6			部屋のスペースが十分にあるため、集中しやすい環境で個別支援が出来る。利用者や活動によって広い部屋を使い、運動もののびのびできる。
	②	職員の配置数は適切であるか	6			ちょうどよい。振替や追加の対応が出来る。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	4		一階の教室は問題ないが、駐車場からの誘導や車の交通整理が必要な時もある。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6			支援だけでなく業務全般について話し合っている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6			アンケート結果を職員間で共有し、今後に活かしていく。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6			公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	2		
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6			主に社内研修に積極的に参加している。社外研修は、代表者が参加した際、他の職員に内容を伝えたり資料を回覧している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			保護者のニーズと利用者の課題を定期的に聞き取り、支援計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	1		集団では担当指導員が話し合い必ず行っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	1		指導員が様々な活動を考え工夫している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6			個別支援だけでなく、長期休みなど比較的時間にゆとりがある時には、同世代の他児との活動やイベントを取り入れている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			個別支援が主だが、時々小集団活動を取り入れ、社会性を育ていけるように計画を作成している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6			支援内容や利用者に合わせて使用する教材や部屋の割り当て、活動の打ち合わせを行っている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	2		当日もしくは翌日に活動の振り返りや反省を行って、次に活かせるようにしている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	1		支援記録をすぐにとり、次の支援に活かせるようにしている。また、職員で定期的に読み合わせを行い、書類の不備をなくすようにしている。

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6			6か月ごと、もしくは必要に応じて見直しを行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	6			
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6			児発管、管理者が参加している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5	1		休日や行事の把握を行い、時間変更や日程の調整を行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		5	1	今のところ該当なし。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	3		必要に応じて行っている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	3		必要に応じて行っている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	4		研修などに参加し、助言をいただくことが出来る。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		2	4	機会があれば交流したい。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	4	2		児発管・管理者が参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			支援のフィードバック時や時間を設けて話し合う機会をもっている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4	2		支援のフィードバック時にご相談を受けることもあるため、保護者に丁寧に対応していきたい。
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			契約時、または必要に応じて行っている。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6			保護者からのご相談には迅速に対応しご助言させていただく機会を設けている。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		6		今のところ行っていない。今後検討していく。
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			保護者からの苦情があった時には、迅速に対応し、職員間でも共有したうえで再発防止に努めている。

	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	2		LINE やブログを通じて活動内容や情報発信を行っている。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	6			掲示物や実績記録票など名前が出ないように注意している。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			伝わりやすいように、具体物や書面で提示したり、支援中は理解できているか確認を丁寧に行う。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	2	3	機会があれば行いたい。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6			掲示物などで周知している。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			定期的に取り組んでいる。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			研修の機会を持ち、利用者に適切な対応を行っている。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	1		契約時に行っている。また、やむを得ず対応した際は、保護者に説明し了解を得ている。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	2		クッキングの活動では、原材料を伝え、アレルギーがないかどうかを確認してから取り組んでいる。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6			事例があった場合は回覧し、共有している。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2024年2月15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」桃花台 校第一単位 保護者等数（児童数：29 回収数：29 割合：100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	28	1		
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	27	2		支援が足りている子とそうでない子がいる。 →もっと支援コマを増やしてほしいというニーズに応えていく。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	16	13		ブラジル人校舎（第二単位）は2Fなので気をつけられないといけない。 →手を繋いだり介助が必要な時はそばにいて見守り対応する。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	28	1		いつも話を聞いてくださり感謝している。 →今後も保護者の悩みに寄り添い対応していきたい。
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	29			いろいろと考えてくれている。クッキングが楽しそうなので今後も取り組んでほしい。 →クッキングは楽しみにしているお子さんが多い。様々な工程で課題も見やすいため、積極的に取り入れていく。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	7	14	8	
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	28		1	契約時だけでなく、ご質問や疑問点があった時に対応していく。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	28	1		全ての利用者について共通理解が出来るようにする。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	27	2		全ての保護者に対して助言などの支援を行っている。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	15	11	父母の会や保護者会のニーズがあれば行いたい。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	22	7		その状況になったことがないので分からない。 →苦情があった時には迅速に対応する。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	22	7		利用者、保護者への配慮を丁寧に行う。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	20	7	2	ホームページやブログの周知とともに、会報なども検討していく。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	27	2		今後徹底していきたい。

非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	23	6		今後周知を徹底していきたい。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	14	14	1	しているところもあるのでやったほうがいい。 →行っていることを周知していく。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	29			
	⑱	事業所の支援に満足しているか	28	1		もう少し支援の数を増やしたい。 →利用希望の時間が空いていないため、空き次第ご案内する。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2024年2月15日

事業所名：こどもサポート教室「きりり」桃花台校第二単位

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5			十分に確保されている。
	②	職員の配置数は適切であるか	5			ポルトガル語での支援を希望される方には、利用状況にもよるが対応していきたい。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		2	3	支援室が2階ではあるが、安全面を考慮して誘導している。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5			
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	2		結果を踏まえて話し合いをしている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5			定期的に季節行事や活動内容をSNS等で公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5			
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5			支援等で研修に参加できない時は、空き時間に支援に必要な動画を見て学習している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			アセスメントを行った上で、職員間で話し合って児発管が作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	1		使用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5			
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	1		職員間で情報共有しながら、固定化しないように考えて支援を行っている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	1		
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			子どもの状況に合わせて、季節行事等で、集団活動に参加し、コミュニケーション力を高めていけるような計画を作成している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	1		適宜行っている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	1		適宜行っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5			繋げている。

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5			定期的に取り組んでいる。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	2	3		
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	2	3		児発管が参加している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	2	3		学校行事の情報を事前に把握して、ご都合がつかない場合は、振替対応が出来ることを伝えている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	1	3	該当者なし
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	3		
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	3		
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	1	3	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2		3	利用時間内での交流は難しいが検討していきたい。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	2	2	1	児発管が参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5			ブラジル人の職員に協力してもらいながら、保護者に伝え、共通理解が出来るように心がけている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	3	1	
保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5			ブラジル人の職員に協力してもらい説明している。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5			保護者からの相談事は、担当や児発管が伺いながら、寄り添った支援を行っている。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1		4	保護者同士の関わりを深める場の提供が出来るように検討していきたい。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5			職員間で話し合い、迅速かつ適切に解決できるように心がけている。

	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5			SNS等で活動内容を公開している。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	4	1		
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5			
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1		4	季節行事等での企画を検討する。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5			訓練の様子やマニュアルを掲示物等で周知している。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5			
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5			定期的に研修を受けたり、会議を行い職員間で周知している。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	2	3		
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	1		
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5			事例が出た時に話し合い、議事録の確認をすることで共有している。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2024年2月15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」桃花台校 第二単位

保護者等数（児童数）：22 回収数：18 割合：82%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	17	0	1	十分に確保されている
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	15	1	2	ポルトガル語のみの支援を希望されている方には、状況に応じて対応している。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	12	3	3	2階への移動の際は、安全面を考慮して誘導している。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	15	3	0	子どもや保護者のニーズや課題を伺い、職員間で話し合いながら、個別支援計画の作成をしている。
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	16	2		職員間で情報共有し、工夫した活動を行っている。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	11	3	4	
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	16	2		ブラジル人の職員に協力してもらい、説明している。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	15	2	1	フィードバックの際に様子や状況をお伝えしながら、ご家庭での様子や困りごとを伺い、課題の共通理解が出来るように心がけている。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	15	1	2	担当職員や児発管が必要に応じて対応し、支援に繋げるように心がけている。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	10	3	5	
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12	4	2	苦情があれば、迅速に対応し、職員間で話し合い改善に向けた説明を行っている。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	17	1		
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	11	7		SNS等で活動内容を公開している。
非常時等の	⑭	個人情報に十分注意しているか	18			
	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	12	4	2	訓練の様子を掲示物等でお知らせしていきたい
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	10	6	2	訓練の様子を掲示物等でお知らせしていきたい

対応						
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	10	3	2	無回答 3
	⑱	事業所の支援に満足しているか	13	2		無回答 3 御満足して頂ける支援が出来るように、職員一同取り組んでいく。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。